

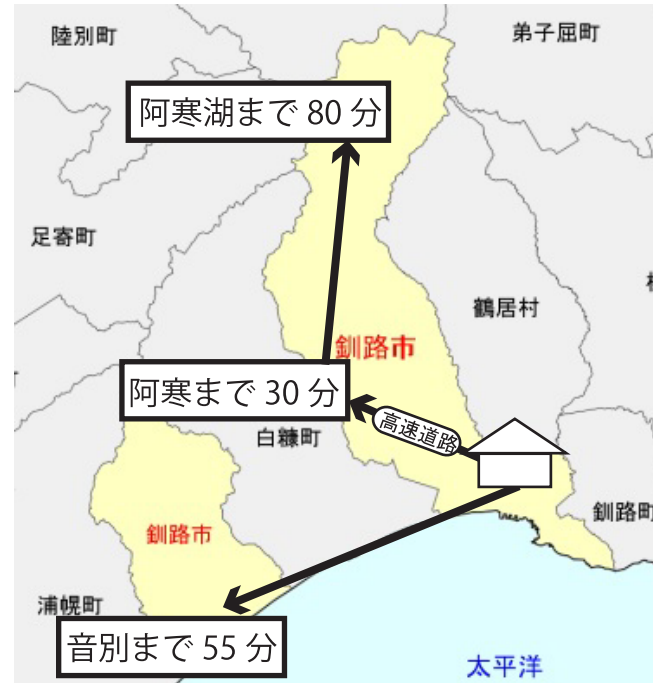
## 学校給食 センター改築

# 1 か所のセンターから市内はもとより、 阿寒湖や音別まで配送するって大丈夫なの？

老朽化している学校給食センターの改築の基本方針が発表されました。センターが新しくなって、衛生管理も向上することは望ましいのですが、大きな問題も

### 三つのセンターを統合、音別も

一番の問題は、これまでの小学校、中学校、阿寒の三つのセンターを統合して、今の給食センターのある貝塚3丁目に建設することです。当然配送時間が大幅に伸びます。それが左の地図です。（音別はこれまでは、音別小学校で調理していました）



学校給食は調理後2時間以内に子どもたちが食べ始められなくなりません。さらに子どもたちが食べる30分前に検食しなければなりません。つまり90分で食べられるようにしないといけません。阿寒湖は配送時間だけで80分。90分以内は「机上の空論」、温かいまま届くか、本当に心配です。しかもこれは、高速道路が釧路までつながった場合のこと、それまでは今の阿寒の給食センターから給食を配送します。



## 共産党の提案

できるだけ配送時間を短くし、津波災害のリスクに備えるために、旧釧路市内に2か所、阿寒に1か所の給食センターを整備し、音別は学校に給食施設を併設する。



### 巨大津波で3〜5mも浸水？

もう一つが津波のリスク。津波襲来時は最大5mの浸水が予想されます。もと、今の場所は津波のリスクもあるし、阿寒や音別から遠いと、新しい土地を物色。しかし、どこもハードルが高く結局、今の場所に決まったのですが…。なぜ、土地選びも迷走したのか？それは、阿寒、音別も含め、無理な全市で1か所のセンター方式にこだわったからです。この1センター方式こそ改めるべきです。



老朽化の目立つ現在の給食センター